

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		学校技能員非常勤嘱託員				
中事業名		事務局運営事業	担当部・課名	教育総務部教育総務課		
総合計画上の位置付け（分野名）		学校教育	担当名	総務担当		
事業開始年度	平成10年度	根拠法令	鎌倉市学校技能嘱託員要綱			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	学校において、受付・接待業務及び清掃・修繕業務等を正規職員とともに従事してもらう。				
	対象 （誰・何を対象に）	児童・生徒及び保護者				
	事業内容 （手段、手法など）	4月1日に採用した嘱託員に対し、月額80,600円の報酬を支払う。月12日勤務で、勤務時間は、午前8時から午後4時までである。 仕事内容としては、校舎内外の清掃、樹木等の手入れ、受付における電話及び来訪者の取次ぎ、学校と教育委員会との文書の送達、軽易な修繕などが主なものである。				
	事業の必要性	非常勤嘱託員の活用により職員数の適正化を図る必要がある。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	36,754 千円	}	職員構成	平均人件費 ×従事職員数	
	人件費	1,467 千円		担当正職員	1,467 千円	0.16 人
	総計	38,221 千円		臨時職員他	千円	人
事業費 （財源内訳・ 単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合		平成22年度予算の財源内訳	
	H19(決算)	34,066	-		国補助金	0
	H20(決算)	31,904	-		県補助金	0
	H21(決算見込)	34,773	-		起債	0
	H22(予算)	36,754	-		一般財源	36,754
平成22年度 事業費内訳	学校技能嘱託員報酬36,754千円（38人分）					

活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	学校技能嘱託員数	人	33	34	36
単位当りコスト (事業費/活動指標)	事業費 / 学校技能嘱託員数	千円	1,032	938	966
成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	平成18年度から学校技能員の正規職員を退職者不補充とし、再任用職員と嘱託員で補充してきた。平成22年度の学校技能員の職員体制についても、正規職員25人、再任用職員11人、嘱託員38人としたところである。今後も正規職員の退職者不補充は継続していくので、引き続き非常勤嘱託員を採用していきたい。				
成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	正規職員数	人	32	29	28
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	退職者不補充を継続していく中、各校、正規職員1名と再任用職員、嘱託員を組んでいく体制を維持していくためには、今後も学校技能嘱託員を採用していく当該事業は不可欠である。 また、学校における学校技能職という仕事の必要性の点から、今後も中心となる正規職員25名の確保は必要であり、他の技能職からの転任等で対応していきたい。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	平塚市 校務作業員という名称で採用 月額報酬117,100円 茅ヶ崎市 教育施設業務員という名称で採用 日額報酬7,500円 逗子市 再任用短時間勤務職員で対応 藤沢市 臨時職員、短時雇用職員で対応 小田原市 小学校25校、中学校3校について委託化している。				
特記事項 (事業の沿革等)	平成11年12月28日に教育委員会と鎌倉市職員労働組合現業職員評議会との間で、確認書を取り交わしている。その内容は、技能員の業務については、「全面委託化」を実施しない。市立小・中学校へ配置する技能員については、現在の2名体制を維持しつつ、各校正規職員(技能員)1名及び月12日勤務の非常勤嘱託員2名の体制とする。 委託化した場合、突発的な事態が生じた場合などに、学校からの指示が受託社員に直接させないことから、迅速に対応できない状況も出てくる可能性がある。				